



# 嘉穂

## コロナ禍での今年度総会実施方針

会運営に関しまして、いつもご協力いただき深く御礼申し上げます。昨年に引き続き、特に首都圏におけるコロナは終息の気配が見えず、緊急事態宣言の延長という、厳しい状況が続きます。期待されるワクチン接種も進んではいるようですが、元の生活に戻るにはまだ時間がかかるようです。皆様におかれましても、日々の生活のご苦労からご承知のとおりでございますが、現状を鑑み令和3年度総会を中止いたします。本校120周年の年でもあるために、大変残念でございますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

ビジネスにおいては、リモートや在宅勤務など、現代のIT環境を駆使した新しい試みもあり、円滑な活動が戻っているように感じています。しかし嘉穂関東地区同窓会が「会い、語らい、杯を酌み交わし、肩を組む」ことが、明日への生きる力となってきたと信じるため、会運営のあり方を自問自答する日々です。集まっていたく機会を提供できないのは不本意ですが、会報を始め、ホームページ、SNSなどを利用しつつ幹事会一同「場」造りを務めてまいります。

歴史は環境変化への対応の歴史と聞いたことがあります。変化の要因は人、技術、自然さまざまです。伝統を振り返りながら、時々修正、適応し今日があるように思います。コロナも必ず乗り越える時が来ます。来年度は、必ず皆様をお迎えできると信じて、令和2年当番の高41回生が、そのまま当番となります。

末筆ではございますが、くれぐれもお身体ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

幹事長 塚本 哲

## 幹事会活動報告

二年連続で総会が見送りと  
なり、会員の皆様にお会いでき  
ない状況が続く、非常に残念  
でなりません。今回は、その  
ような中、活動を続けてお  
ります同窓会組織の幹事会に  
ついて、紹介いたします。

幹事会は、関東地区同窓会  
の会員規模の拡大に伴い、会  
長の補佐を行い、会務の円滑  
な執行を行うことを目指し、  
現田中副会長（高26）と塚  
本幹事長（高27）をメンバ  
ーに、理事会の下部組織とし  
て立ち上がりました。現在、各  
当番回期終了後、約二名ずつ  
の増員を行っており、オプザ  
ーバ参加の当番期も含めて、  
二十二名で構成されています。

年間行事や理事会、秋・当番  
回期による総会のご案内等）、  
青年部による新人への声掛け  
及び歓迎会、ホームページ委  
員会によるホームページ更新  
などを行い、年一回の総会開  
催においては、当番回期とと  
もに、その準備運営を行いま  
す。

関東地区同窓会は、会員の  
皆様のご協力で、活発な活  
動と共に、会員数約二千二百  
名、総会参加者四百名超えの  
非常に大きな組織となりました。  
しかし人口減少や関東へ  
の進学率低下などに加えコロ  
ナ禍等、その環境変化により  
年々課題も増えています。例  
えば、同郷の懐かしい仲間と  
の再会の機会を提供してきた

本同窓会が、SNSの普及に  
より、すでにネットワークを  
構築している世代もあり、若

具体的活動は会全体の運営  
はもちろん、中心となる会員  
同士の交流は、年二回の会報  
発行（春・関東地区同窓会の

構築している世代もあり、若

い世代の同窓会参加の動機づけが変容してきていること。また、個人情報に関する認識の高まりから、「住所情報の提供はお断り」「メールでの連絡は可」もしくは「Lineでの連絡希望」など、会員との連絡手段も再考せざるを得ない状況であること。経済環境においても、バブル崩壊以降社会人となった世代が当番期を迎えており、約五百万円以上の金額が動く総会の収支責任を負う現在の仕組みに抵抗がないかも危惧するところだ。

このような状況を受けて、幹事会では、新しい取り組みを始めました。

## 一、各種書類の電子化と

### オンライン会議

幹事会はこれまで紙の会議資料をもとに田中副会長の会社会議室をお借りして討議を行ってきました。コロナ禍がきっかけではありましたが、同窓会でクラウド・ストレージを契約し、各種討議資料を電子化するとともに、会議も

ZOOMによるオンライン会議を行うようになりました。これにより、会議への参加がより容易となり、また、仮に参加できないにしても、資料の事前参照や事後確認などが合理的に行えるようになりました。

## 二、メールによる

### 通信手段の追加

これまで会員の皆様とは、郵送のみの通信手段であったところを、メールも通信手段に追加することとなり、メールアドレスの収集を開始しました。コロナ禍の影響により、活動が鈍化していましたが、ご提示いただける方へのホームページ更新の連絡などを中心に、新たな会員様への情報発信の手段として利用を開始予定です。

## 三、会費等払込方法の

### 追加

郵送物に振込用紙を封入して会費徴収を行うこれまでのやり方だけでは、住所情報提供をいただけない会員の方

らの会費徴収は難しく、その他の徴収手段が必要となっております。これに対して収納代行サービスの導入を検討しています。サービス導入・維持費用が発生してしまうのですが、クレジットカード払いやコンビニ支払いなど、現在の会員の方にもメリットのあるサービスです。費用発生すると思いますが、他校の事例などおられますが、参考を検討を進めております。

## 四、総会会場や総会会費

### の検討

四百名を超える大規模会場は、その性質上数が少なく、また、飲食費用も高い傾向があります。総会参加の皆様には相当の負担を頂いておりますが、近年の開催は費用面で難しい状況になってきています。また、毎年、台風による集客影響の不安（当日出席されなくなる会員様や百名近い関東地区以外の参加メンバー）もあり、不安が顕在化した場合の費用影響は当番でまかな

いされるものではありません。年に一度の総会及び懇親会は、関東地区同窓会の根幹イベントであり、これらの問題とどのように折り合いをつけるか、非常に難しい課題ですが、当番期と相談の上、検討を進めてまいります。

## 五、幹事会の交代制導入

### と新しい体制の構築

前述の目的をもって立ち上がった幹事会ですが、発足から十年を超え、若返りによる活性化を目的に一般幹事の方は六十歳。幹事長等役職者の方は六十五歳をもって任を終え交代していただくガイドラインを内規としました。

28回生以上の役員の方が任期満了（今年度はコロナ禍のため、交代を延期）あとの体制は、単なる後任人事ではなく、新しい体制として、今後の交代制にも耐えられる継続的組織を念頭に、また、卒業生の約半分を占める嘉穂女子の意見を反映できる組織作りを目指しています。

## 最後に

今後の幹事会運営や新しい取り組みについて、理事、世話人、そして会員の皆様の、これまで同様のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。故原会長の口癖でありました「日本一の同窓会」を目指して、幹事会の運営に努めてまいります。

副幹事長 高31回 中西佳子



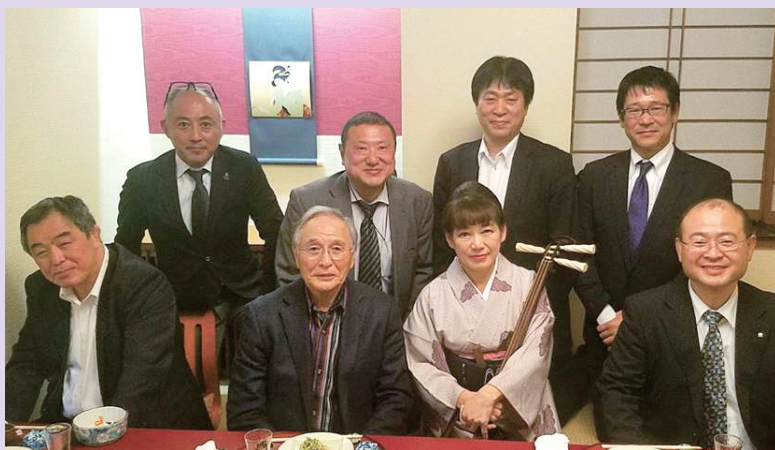


## 吉岡先生を偲んで わが人生の恩師

2021年7月9日早朝に長男茂樹さんからの電話により、吉岡先生の訃報に接しました。

竜王山の麓、潤野のご自宅で家族に見守られ静かに眠るように亡くなられました。享年79歳でした。ここ数年闘病生活を強いられる中、不屈の闘志で治療に立ち向かい『最後まで生き切った』お姿が、私の心に深く残っており、覚悟はしておりましたが虚無感に襲われており、今は先生から教えたいただいた『今を生きる』を思い返しなから過ごしています。

私は、高校3年間を嘉穂高校剣道部



員として過ごし、卒業後は年に数回、先生が上京されるときにお世話係を進んでやらせて頂いておりました。この度、寄稿のお話を頂きましたが、吉岡先生のお世話係として最後のお役目と考え、諸先輩方に対して恐れ多く僭越ながらも、執筆させて頂く事といたしました。

先生の剣道での功績としては、高校現役時代、国士館大学生時代は言わずもがな、母校に戻り指導者としても『嘉穂ここにあり』全国に嘉穂の名をとどろかせたかと思えます。

現役時代の我々には、スポーツとしての剣道ではなく、武道家としての心構え、姿勢、物事の本質は何か！厳しい鍛錬の中、妥協のない鬼気迫る指導であったかに思います。先生の嘉穂校愛は強いものがあり、質実剛健・自主創造・文武両道の嘉穂校イズム、嘉穂魂をしっかりとこの令和にもつなげ、現在の嘉穂校に至る指導の礎を築かれて来たのではないかと感じております。生徒に真剣に向き合い、生徒の将来を見据えて指導してこられていたのではないのでしょうか。嘉穂高校校長に就任された方に、吉岡先生の門下生が多くおられますが、その考えをしっかりと受け継がれているものと感じます。

嘉穂高校校長を退任された後も、母校国士館大学の理事を務められ、東京での理事会がある際は、都度上京されておりました。また、嘉穂同窓会長として全国行脚なさっており、中でも関東同窓会には特別な思いも持っており、皆様と楽しいお話し酒を酌み交わされていたことが強く印象に残っております。

宴席にても先生は、教育・社会・風潮や人の道についてのお考えを話されることがよくありました。剣道もさることながら人生の師として卒業後もい

つも見守っていたいただき、いろいろな相談や悩みを聞いて頂いたこともございます。「嘉穂高校校歌を歌えんような嫁をもらうな」「礼節を重んじろ」「たまにはバカになり切れ」「小手先の要領は絶対にするな」などなど笑いを交えた会話が思い浮かびます。粋で、周りに気遣い、楽しませてくれていました。ある時は、格式のある料亭で三味線の奏者がいらした時に、自ら買って出て、黒田節を披露されたときは鳥肌が立つたものです。

時に、先生が近くの紙をとり『而今(にこん)』と書かれ、「こげして集まれば、思い出話しや過去の栄冠にも花が咲くが、それはそれで良い。ただし『今』が最も大事だ。今の生き様、今やることを一所懸命にやる、今の自分自身を最大限に活かす、そんな生き方が大事だ』とおっしゃられていました。先生自身も、剣の道では、史上最年少で七段取得(今も破られていません)。その後は指導に専念され、晩年になり、合格率1%未満という高難度の八段を目指し、昇段審査に来京されておられました。審査員は昔先生の後塵を踏んでおられた方々ばかりで、年齢的なハンディも加わり厳しいものが正直ございました。先生は、「健康のために稽古して、その励みが欲しくて受けとるとたい！こうやって東京に来てお前たちと話せるのも楽しみたい！」とおっしゃいました。審査会場では体格の良い若い剣士に交じりながらも、現役当時の気迫・剣捌きはそのまま、一歩も引くことのない剣風、毎回最終選考まで残り続けられていた先生の姿を見ていて、どれほど感激していたことか。今を大切にされ、而今を単なる教えとしてではなく、自らの生き様として示されていたのではないかと感じておりました。

先生は戒名を、『淬礪輝城居士』と自

ら付けられました。旧校舎の道場の入り口に掲げられた淬礪(さいれい)の字をご記憶の方も多くいらっしゃると思えます。淬礪\*は、精進し励むことです。が、この戒名に先生の指導・教育やご自身の鍛錬へ向けられた強く激しい思いや姿勢を感じます。一心に嘉穂校の発展に尽力され、多くの人を指導してこられた吉岡輝城先生に感謝と共に、ご冥福をお祈りしたいと思えます。

\* 淬礪の淬(にら)ぐは、刀を鍛えるために鉄を灼熱させて水にくぐらせる。という意味で、礪(あらと)と(ぐ)み(く)は刃を研ぐなかの粗い砥石での研ぎを示します。熟語として、にらぎみがく、ことから、心を奮い起こし修養につとめる、意に使われます。

高校35回 川原勝美

### 訃報 心より御冥福をお祈り申し上げます

佐々木 勝 子さん (高15回 2017/5)	安 永 重 信さん (中47・高1回 2021/1/17)
石 山 神 子さん (高19回 2020/3/10)	山 田 和 司さん (高9回 2021/1/21)
田 中 辰 憲さん (中43回 2020/6/21)	山 本 征 二さん (高10回 2021/1/29)
石 田 勇 二さん (中48・高2回 2020/8/4)	武 田 旦 生さん (高3回 2021/2/23)
野 田 清 さん (高6回 2020/9/1)	泥 谷 戊 さん (高3回 2021/2/25)
池 末 嘉 紀さん (中47・高1回 2020/9/13)	藤 川 節 子さん (高8回 2021/3/27)
前 田 慶之助さん (中43回 2020/11/11)	神 馬 君 夫さん (中47・高1回 2021/4/17)
水 本 史 朗さん (中45・中46回 2020/11/14)	三 井 友 寛さん (中38回 数年前にご逝去)
原 信 義さん (高3回 2020/11/24)	上 野 正 弘さん (中41回 不明)
原 中 良 さん (高7回 2020/12/23)	



# 「還暦を迎えて」

高32回 相園 靖彦

嘉中、嘉高同窓会生の皆様、お元気ですか？

私は今年還暦を迎える高32回の相園靖彦と申します。

一昨年の秋から発生したコロナウィルスによる感染症は瞬く間に世界中に拡散し、歴史に残る感染症になつております。

2020東京オリンピックは1年間延長となり、何とか先般開催され無事終了致しました。

また来週からは、パラリンピックが開催となりますが、無観客での催しになりました。

今現在(8/17)コロナウィルス感染症は新型デルタ株が日本国内で猛威を振るい、5回目の緊急事態宣言が発令される見込みとなっております。

我々同窓生の皆様が年に1度最大の楽しみにしております「関東地区同窓会」は昨年に続いて本年も中止が決定致しました。

本当に残念でなりません。

思い起こせば、我々高32回生が5歳の当番時には東日本大震災(2011.3.11)が発生し、事前の準備、打合せ等に大変苦労し、何とか同期と共に本番を無事乗り切ったことが強く印象



的な出来事として残っております。さて還暦、「七十二支」千支が一巡し誕生年の千支



に還ること、もとの暦に還ることに由来するそうです。還暦には赤いちゃんちゃ

んこを着るといふ風習は、赤子に戻り、もう一度生まれ変わって出直す意味があるそうです。

平均寿命が短かった以前では60歳は長寿の象徴であり、その為にお祝いをしたのだと思います。

今、平均年齢が80歳を超え、政府が人生100年時代を推奨している現代に於いては、人生の折り返し地点を半分過ぎたことに過ぎません。

ただ満60歳を迎え、自分なりの人生を経験しました。

両親や祖母、恩師、友人等大切な人の死、自身の結婚、子供の誕生、昨年は初孫まで授かりおじいちゃんにもなりました。今年も定年を迎えます。

多くの人の泣き笑い、夢や希望、蹉跎や失意が集まって一栄、一辱の人生交差点だったと思います。その60年の中で、その後の人生に大きなインパクトを与え、礎となったのは嘉穂高校柔道部時代の3年間でした。とにかくきつかった！毎日毎日5〜6時間洋礪館の道場で汗を流したことが、今の私を作り、その体験が私の血肉になって身体に染み付いております。

1日に汗びっしょりになった柔道着を稽古途中で何回も着替え、やつと今日の稽古が終わったと安堵すると藤川先生から「ラスト打込み300本」の指示、その後「3セット！」の追加指示を頂き、本当に鍛えられました。毎日稽古終了後は立ち上がれなくなるまで稽古漬けの毎日でした。

圧倒的な稽古量が質を凌駕する！毎日コツコツと人一倍の努力をし、決して諦めなければ何とかなる！そんな体感をした3年間でした。

還暦を迎えて一巡した人生、これからは次世代の皆様は何を伝え、何を残せ、少しでも社会のお役に立てるような生き方をしたいと思っております。

あと20年、仮に80歳まで長生きしても約7300日しかありません。1日、1日毎日が貴重な時間の積み重ねです。一期一会を大切にしたい、やりたい事をやりきり、充実した生き方をしたいと思っております。

最後に1日も早い新型コロナウィルス感染症の終息を願い、来年こそぜひ共「嘉穂の祭」である関東地区同窓会会場の皆様とお会い出来る事を楽しみにしております。

尚、この文章は楽しみにしていた還暦時の同期会を迎える事なく本年2月に亡くなった玉置誠司君に捧げたいと思います。

## 編集後記

オリンピック・パラリンピックのメダルラッシュに気持ち少し前向きになりました。スポーツの持つ力を感ぜながら新型コロナウイルスは変異しながら衰えを感じさせません。生活は変化しほぼ定着した感があります。いつになったら以前の様に楽しく語らえる日が来るのでしょうか。時短営業やアルコールの提供禁止でご苦労されています。お店の方の心労を思うと苦しくなっています。また、線状降水帯によるこれまでに経験した事のないような大雨で大きな災害が各地で起きています。他国をみても山火事や洪水等で被害が甚大です。人類が資源を浪費し、繁栄のために節操なくやってきた事を、自然に叱られているかのようです。これからはこれまで以上に脱炭素に向かつて大きく時代は変化していくのでしょうか。アフガニスタンから米軍が撤退し時計が20年前に戻ってしまった。日本から活発に投資がされていいた。日本から選挙権のクーデターで民主化が遠のいていきます。中国の台頭もあり地政学的にも大きな転機です。大変な時代、我々の代表を決める衆議院選挙で、激動の時代を託せる方に一票を投じたいと思っております。(K)



### ■ 関東地区同窓会事務局

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-32-10  
南新宿SKビル  
株式会社タイセイ・ハウジー内  
TEL. 03-3350-6180  
<http://www.kahokanto.net/kwp/>

### ● 幹事会・事務局

- |        |             |             |
|--------|-------------|-------------|
| 副会長    | 田中 寛利 (高26) | 中村 真一 (高29) |
| 幹事長    | 塚本 哲 (高27)  |             |
| 副幹事長   | 中西 佳子 (高31) | 江上 朋広 (高37) |
| 幹事     | 相園 靖彦 (高32) | 中谷 浩之 (高33) |
|        | 森田 直彦 (高34) | 桑原美喜子 (高35) |
|        | 宮本 敏則 (高36) | 中村 英男 (高37) |
|        | 佐藤 憲一 (高38) | 栗原 義之 (高39) |
|        | 平田 雅浩 (高39) | 日高 伸次 (高40) |
|        | 村田美也子 (高40) |             |
| 監事     | 大園 建 (高31)  | 有田 真紀 (高35) |
| 事務局長   | 赤間 敏雄 (高10) |             |
| 事務局    | 土方 和恵 (高28) |             |
| 青年部長   | 川口 雅史 (高33) |             |
| 青年部副部長 | 小鶴 浩之 (高38) |             |
| HP委員長  | 河村 俊子 (高38) |             |

### ■ 嘉穂高校同窓会本部

〒820-0021 福岡県飯塚市潤野8番12号  
TEL. 0948-22-0231 <http://kaho.fku.ed.jp/>